

第17回宇宙政策委員会 議事要旨

1. 日時：平成25年10月25日（金） 15：00－17：00

2. 場所：内閣府宇宙戦略室5階会議室

3. 出席者

(1) 委員

葛西委員長、松井委員長代理、青木委員、中須賀委員、松本委員、山川委員、山崎委員

(2) 政府側

山本内閣府特命担当大臣(宇宙政策)、亀岡内閣府大臣政務官、阪本内閣府審議官、西本宇宙戦略室長、明野宇宙戦略室審議官

4. 議事要旨

冒頭、山本大臣、亀岡政務官から以下のような挨拶があった。

山本大臣：

- ・宇宙政策委員の皆様には「戦略的予算配分方針」を取りまとめいただき、骨太のコンセプトを示していただいた。宇宙政策担当大臣名で「戦略的予算配分方針」を関係大臣に通知し、同方針に沿って予算要求をして頂くようお願いした。
- ・厳しい財政状況の中で、メリハリをつけて宇宙政策を進めることが重要。「戦略的予算配分方針」を活用しながら、省庁縦割りを超えた「国家戦略としての宇宙政策」を、宇宙戦略室を中心に進めてもらいたい。
- ・委員の皆様には、国家戦略として何が重要か、との観点から、安倍総理のおっしゃる「宇宙利用」元年に相応しい宇宙政策とすべく、今後とも議論を深めて頂きたい。

亀岡政務官：

- ・宇宙政策委員の皆様には、国際社会の中で、我が国が未来に向けていかなる役割を果たすべきか、「国家戦略としての宇宙政策」の観点から、議論を深めて頂きたい。

(1) 宇宙輸送システム部会、宇宙科学・探査部会、宇宙産業部会からの報告について

宇宙輸送システム部会からの報告について、資料1に基づいて山川部会長より、宇宙科学・探査部会からの報告について資料2-1、資料2-2に基づいて松井部会長より、宇宙産業部会からの報告について資料3-1、資料3-2、資料3-3に基づいて松本部会長よりそれぞれ報告を行った。主な意見は以下のとおり。

○新たな基幹ロケットの開発に関し、我が国の総力を結集する観点から、人材の最適配置が必要。ただし、ロケット技術は機微な情報も含まれるため、技術流出をさせないような配慮が必要不可欠。

○宇宙科学・宇宙探査については、一定規模の資金を確保し、まずは現在決定しているプロジェクトを着実に推進していく。

○宇宙産業の海外展開に当たっては、トップセールスが重要。相手国が本当に

欲しているものを知るには、相手国の担当者レベルではなく、国家政策決定に携わる人物から情報を得られる関係を構築することが重要。

(2) 平成26年度宇宙開発利用に関する戦略的予算配分方針のフォローアップについて

上記議題について、事務局から資料4の報告があった。

委員からのコメントや宇宙科学・探査部会からの報告を踏まえ、平成26年度宇宙開発利用に関する戦略的予算配分方針のフォローアップについて、事務局でとりまとめることとなった。

(3) その他

中須賀委員から参考資料2（平成25年度宇宙開発利用大賞の実施結果概要）について報告を行った。

以上